

○2025年度入学・各研究科入学試験（筆記試験）における「出題意図」について

研究科	課程	入試種別	試験科目（筆記試験）	配当	出題意図
文学	博士前期	一般・留学生	英語（英語圏文化研究コース）	100点	英語と日本語、さらにその他諸言語（受験生の母語を含む）の研究を基盤としてさらに文化諸現象を深く掘り下げていけるような力を確認した。様々な切り口から英語圏の文化を研究できる潜在力を測定した。同時に、入学後の必修の基礎研究演習・特殊研究演習・論文指導演習・修士論文演習、多様な選択科目の学習と研究に対応できる十分な能力が潜在しているかどうかを測定した。関連する面接などでは将来の研究能力だけではなく、研究者も含めた社会人として適正な人物かどうかの総合的な判断も行った。
文学	博士前期	一般・留学生	専門科目（英語圏文化研究コース）		英語と日本語、さらにその他諸言語（受験生の母語を含む）の研究を基盤としてさらに文化諸現象を深く掘り下げていけるような力を確認した。様々な切り口から英語圏の文化を研究できる潜在力を測定した。同時に、入学後の必修の基礎研究演習・特殊研究演習・論文指導演習・修士論文演習、多様な選択科目の学習と研究に対応できる十分な能力が潜在しているかどうかを測定した。関連する面接などでは将来の研究能力だけではなく、研究者も含めた社会人として適正な人物かどうかの総合的な判断も行った。
文学	博士前期	一般・留学生	英語（応用言語学・英語教育研究コース）	100点	英語と日本語、さらにその他諸言語（受験生の母語を含む）の研究を基盤としてさらに文化諸現象を深く掘り下げていけるような力を確認した。高度な語学力と英語の専門知識をもつ優れた英語教員の養成を目指せる潜在力を測定した。同時に、入学後の必修の基礎研究演習・特殊研究演習・論文指導演習・修士論文演習、多様な選択科目の学習と研究に対応できる十分な能力が潜在しているかどうかを測定した。関連する面接などでは将来の研究能力だけではなく、研究者も含めた社会人として適正な人物かどうかの総合的な判断も行った。
文学	博士前期	一般・留学生	専門科目（応用言語学・英語教育研究コース）		英語と日本語、さらにその他諸言語（受験生の母語を含む）の研究を基盤としてさらに文化諸現象を深く掘り下げていけるような力を確認した。高度な語学力と英語の専門知識をもつ優れた英語教員の養成を目指せる潜在力を測定した。同時に、入学後の必修の基礎研究演習・特殊研究演習・論文指導演習・修士論文演習、多様な選択科目の学習と研究に対応できる十分な能力が潜在しているかどうかを測定した。関連する面接などでは将来の研究能力だけではなく、研究者も含めた社会人として適正な人物かどうかの総合的な判断も行った。
文学	博士前期	一般・留学生・社会人	専門科目（国際文化・メディア文化研究コース）	100点	英語と日本語、さらにその他諸言語（受験生の母語を含む）の研究を基盤としてさらに文化諸現象を深く掘り下げていけるような力を確認した。ヨーロッパとアジアの文化およびメディアの創り出す世界を研究していける潜在力を測定した。同時に、入学後の必修の基礎研究演習・特殊研究演習・論文指導演習・修士論文演習、多様な選択科目の学習と研究に対応できる十分な能力が潜在しているかどうかを測定した。関連する面接などでは将来の研究能力だけではなく、研究者も含めた社会人として適正な人物かどうかの総合的な判断も行った。
文学	博士前期	一般・留学生・社会人	専門科目（日本語・日本文化研究コース）	100点	英語と日本語、さらにその他諸言語（受験生の母語を含む）の研究を基盤としてさらに文化諸現象を深く掘り下げていけるような力を確認した。日本の文化と言語双方に堪能な研究者をなれる潜在力を測定した。同時に、入学後の必修の基礎研究演習・特殊研究演習・論文指導演習・修士論文演習、多様な選択科目の学習と研究に対応できる十分な能力が潜在しているかどうかを測定した。関連する面接などでは将来の研究能力だけではなく、研究者も含めた社会人として適正な人物かどうかの総合的な判断も行った。

研究科	課程	入試種別	試験科目（筆記試験）	配当	出題意図
文学	博士前期	社会人	専門科目（英語圏文化研究コース）	100点	英語と日本語、さらにその他諸言語（受験生の母語を含む）の研究を基盤としてさらに文化諸現象を深く掘り下げていけるような力を確認した。様々な切り口から英語圏の文化を研究できる潜在力を測定した。同時に、入学後の必修の基礎研究演習・特殊研究演習・論文指導演習・修士論文演習、多様な選択科目の学習と研究に対応できる十分な能力が潜在しているかどうかも測定した。関連する面接などでは将来の研究能力だけでなく、研究者も含めた社会人として適正な人物かどうかの総合的な判断も行った。
文学	博士前期	社会人	専門科目（応用言語学・英語教育研究コース）	100点	英語と日本語、さらにその他諸言語（受験生の母語を含む）の研究を基盤としてさらに文化諸現象を深く掘り下げていけるような力を確認した。高度な語学力と英語の専門知識をもつ優れた英語教員の養成を目指せる潜在力を測定した。同時に、入学後の必修の基礎研究演習・特殊研究演習・論文指導演習・修士論文演習、多様な選択科目の学習と研究に対応できる十分な能力が潜在しているかどうかも測定した。関連する面接などでは将来の研究能力だけでなく、研究者も含めた社会人として適正な人物かどうかの総合的な判断も行った。
文学	博士前期	留学生	日本語	100点	日本語を母語としない受験生がどのコースに進もうとも英語と日本語、さらにその他諸言語（受験生の母語を含む）の研究を基盤としてさらに文化諸現象を深く掘り下げていけるような力を発揮するために十分な日本語能力を有しているかを確認する。同時に、入学後の必修の基礎研究演習・特殊研究演習・論文指導演習・修士論文演習、多様な選択科目の学習と研究に対応できる十分な能力が潜在しているかどうかを測定する。日本語を母語としない受験生の場合、関連する面接などでは将来の研究能力、日本語能力だけでなく、研究者も含めた社会人として適正な人物かどうかの総合的な判断も行った。
社会学	博士前期	一般	英語	100点	学士課程で習得した知識に加え、複雑化する現代社会が抱える様々な問題にアプローチし研究を進めていくために基礎となる英語の読解力を有しているか確認する。
社会学	博士前期	一般・社会人・留学生	専門科目（社会学）	100点	社会学分野における基礎的理論や専門的知識の理解度および自分の考えを論理的に表現する能力を有しているか確認する。
社会学	博士前期	一般・社会人・留学生	専門科目（社会福祉学）	100点	社会福祉学分野における基礎的理論や専門的知識の理解度および自分の考えを論理的に表現する能力を有しているか確認する。
社会学	博士前期	留学生	日本語	100点	社会学分野、社会福祉学分野について、専門知識を深め、研究を進めていくための基礎となる日本語の読解力、論述力を確認する。
経済学	博士前期	一般	英語	100点	経済学における専門知識を体系的に理解し、学術的な見地から新規性のある課題を提示し、新しい分析枠組みを思考・表現するために必要な水準の英語運用能力を備えているかを判定する。
経済学	博士前期	留学生	日本語	100点	経済学における専門知識を体系的に理解し、学術的な見地から新規性のある課題を提示し、新しい分析枠組みを思考・表現するために必要な水準の日本語運用能力を備えているかを判定する。
経済学	博士前期	一般・留学生	専門科目（マクロ経済学）	100点	マクロ経済学分野の基礎・応用知識を問うことで、研究遂行能力や学習意欲を評価する。大学院での専門的研究に進むための準備状況を確認し、研究計画の実行力を見極める。

研究科	課程	入試種別	試験科目（筆記試験）	配当	出題意図
経済学	博士前期	一般・留学生	専門科目（ミクロ経済学）	100点	ミクロ経済学分野の基礎・応用知識を問うことで、研究遂行能力や学習意欲を評価する。大学院での専門的研究に進むための準備状況を確認し、研究計画の実行力を見極める。
経済学	博士前期	一般・留学生	専門科目（マルクス経済学原理論）	100点	マルクス経済学原理論分野の基礎・応用知識を問うことで、研究遂行能力や学習意欲を評価する。大学院での専門的研究に進むための準備状況を確認し、研究計画の実行力を見極める。
経済学	博士前期	一般・留学生	専門科目（財政学）	100点	財政学分野の基礎・応用知識を問うことで、研究遂行能力や学習意欲を評価する。大学院での専門的研究に進むための準備状況を確認し、研究計画の実行力を見極める。
経済学	博士後期		外国語（英語）	100点	経済学における専門知識を体系的に理解し、学術的な見地から新規性のある課題を提示し、新しい分析枠組みを思考・表現するために必要な水準の英語運用能力を備えているかを判定する。
経済学	博士後期		外国語（ドイツ語）	100点	経済学における専門知識を体系的に理解し、学術的な見地から新規性のある課題を提示し、新しい分析枠組みを思考・表現するために必要な水準のドイツ語運用能力を備えているかを判定する。
経済学	博士後期		外国語（フランス語）	100点	経済学における専門知識を体系的に理解し、学術的な見地から新規性のある課題を提示し、新しい分析枠組みを思考・表現するために必要な水準のフランス語運用能力を備えているかを判定する。
経済学	博士後期		外国語（中国語）	100点	経済学における専門知識を体系的に理解し、学術的な見地から新規性のある課題を提示し、新しい分析枠組みを思考・表現するために必要な水準の中国語運用能力を備えているかを判定する。
経済学	博士後期		外国語（日本語）	100点	経済学における専門知識を体系的に理解し、学術的な見地から新規性のある課題を提示し、新しい分析枠組みを思考・表現するために必要な水準の日本語運用能力を備えているかを判定する。
経営学	博士前期	一般・社会人A・留学生	小論文	100点	経営学研究科で学ぶための意欲と基礎的能力を見るための試験である。指定した課題図書にある経営学の基礎知識を確実に学んでいるか、そしてそれを使って設問に対して論理的な回答ができる能力があるかを問うている。設問は経営学の主要かつ基本的な理論や概念に関するものであり、経営学研究科ではそれらを理解し、活用していくことが求められる。そのため、このような試験が必要になる。
経営学	博士後期		外国語（英語）	100点	経営学研究科博士後期課程では、経営学、および関連する学問領域における高度な専門的文献、あるいは先進的な文献を読み、理解することが必要になる。もちろんそれらの中には外国語(英語)による文献が多数含まれることから、外国語(英語)の読解能力をみるための試験が必要になる。主として経営学、あるいは実際のビジネスに関わる問題を出題し、それに対する理解の正確さや論述的確さを評価している。
経営学	博士後期		外国語（日本語）	100点	経営学研究科博士後期課程では、経営学、および関連する学問領域における高度な専門的文献を読み、それに基づいて議論することが必要になる。もちろんそれらの多くは外国語(日本語)によるものであることから、外国語(日本語)の読解能力をみるための試験が必要になる。主として経営学、あるいは実際のビジネスに関わる問題を出題し、それに対する理解の正確さや論述的確さを評価している。